

令和元年度第 1 回南アルプス市地域公共交通活性化協議会

日時：令和元年 6 月 21 日（金）

午後 2 時から

場所：市役所本庁 3 階大会議室

次第

1. 開会	2
2. 市長挨拶	2
3. 会長挨拶	3
4. 委員及び事務局自己紹介	4
5. 議事	4
(1) 南アルプス市コミュニティバス運行について	5
● コミュニティバス運行経過及び利用状況等	5
● コミュニティバス運行計画	5
(2) 地域内フィーダー系統確保維持計画について	5
(3) 南アルプス市コミュニティバス新規路線について	6
(4) 楡形西地区コミュニティタクシー「そよかぜ号」運行について	7
● 楡形西地区コミュニティタクシー「そよかぜ号」利用状況等	7
● 楡形西地区コミュニティタクシー「そよかぜ号」運行方法の一部変更	7
(5) 南アルプス市営バス事業（広河原⇄北沢峠線）の新たな運営方針について	9
(6) その他	11
6. 講評	15
7. 閉会	18

1. 開会

●事務局

令和元年度第1回目になります南アルプス市地域公共交通活性化協議会にご出席くださりまして誠にありがとうございます。

私、担当しております市役所の総合政策部交通政策室の小池と申します。本日の進行を務めますのでどうぞ宜しくお願い致します。

本日の会議につきましては、まず市で運行しております市のコミュニティバス、この10月からの運行計画に若干変更点がございますので、それらを中心に協議していただくこと、また報告事項等含めての会議となります。

また確認ですけれども、本日の会議の資料につきましては、今週の頭に郵送で送らせていただいております。本日の配布資料といたしまして、次第・名簿・規約・コミュニティバスの時刻表を机の上に置かせていただいております。郵送させていただいた資料も含めましてご不足のものがございましたら挙手をいただければと思いますがいかがでしょうか。

本日の会議ですけれども、これまでの会議同様に記録を取り、会議録としまして以後市のホームページの方へ公開しておりますので、予めご承知していただきたいと思っております。

それでは次第によりまして会議に入ります。

2. 市長挨拶

●事務局

金丸市長、挨拶をお願い致します。

●市長

みなさんこんにちは。市長の金丸でございます。一言ご挨拶をさせていただきます。

本日は大変お忙しい中、第1回地域公共交通活性化協議会にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

また、委員の皆さまには、本市に必要な公共交通の確立のため、平素より、格段のご理解とご協力をいただき、改めて感謝を申し上げます。

本協議会は、本市の公共交通について、専門的な見地から、また、安全性や利便性及び、利用者や地域目線の観点から、建設的な協議をいただき、コミュニティバスの運行等に反映していくための重要な会議であります。

公共交通につきましては、超高齢社会を迎え、免許証の自主返納などにより、交通弱者が増加傾向にあることから、市民が安心して生活できる環境を維持していくために重要な役割を担っております。

こうした中、本市のコミュニティバスにつきましては、地域の実情に見合った効率的かつ、利便性の高い公共交通を目指すとともに、民間路線バスや鉄道、タクシーなど、他の

公共交通と連携及び、補完する中で、機能させることが重要であると考えております。

また、持続可能なバス運行を構築していくためには、「市民のための市民のバスである」という意識の醸成や、市民の積極的な利用と協力も必要であると、あらためて感じております。

平成27年10月の運行開始以来、市民の皆さまから運行路線や時間帯、運行本数などについて、様々なご意見、ご要望いただきながら、利便性の向上を図るため、毎年度、様々な角度より、見直しを図ってまいりました。こうした結果、運行当初は2万人の利用者でありましたが、今年度は5万人近くになる見込みであります。

今後も、利用者の声を聞く中で、より便利で利用しやすい公共交通を目指して、継続的に改善を図っていくとともに、利用促進を進めてまいりたいと考えております。

本日は、コミュニティバスの運行計画のほか、企業局で運行している南アルプス市営バス事業の新たな運営方針につきましてもご協議いただくこととしております。

今後も委員の皆さまのご意見を踏まえながら、地域交通の活性化を図ってまいりたいと考えておりますので、引き続き、ご協力をお願いいたします。本日は、宜しく願いいたします。

●事務局

ありがとうございました。

なお、金丸市長におかれましてはこの後も予定が入っておりますので、ここで退席となります。ご承知いただきたいと思います。金丸市長ありがとうございました。

●市長

失礼いたします。宜しく願い致します。

3. 会長挨拶

●事務局

つづきまして会長挨拶。本協議会の会長であります手塚副市長より挨拶を申し上げます。手塚会長、宜しくお願いします。

●会長

こんにちは。時節柄みなさん非常にお忙しい時期だと思います。ご出席を賜りまして本当にありがとうございます。市長の方から今ご挨拶がありました。経緯もありましたので私の方からというのもございますけれども、立場として一言だけお願いをしたいと思っております。先ほど言いましたように平成19年から始めているわけがございますけれども、当然合併してからいろんなことであの手この手で試行錯誤をしまいった中で、経費についても多少無駄な部分があるのではないかと、いろんなご批判等もあろうかと思っておりますけれども、国の補助等も受けながら、一般財源は少なくしながら、さりとて今から少子高齢化

ということで、昨今高齢者の方々には申し訳ないですが、誤作動による事故において若いお子さんたちが命を落とされるというような、本当につらい思いのすることも多々起きております。そんなことを思いますと、やはり安全な社会ということになりますと車産業の中で当然その規制のかかる開発をしていただくということも当然でございますけれども、そうは言っても高齢者の方々も含めて生活という中ではこのコミュニティバスが非常に大切な位置になってくると思われまして、そのことが急速に進んでいるかどうかということの実感が中々やはりないのではないかと思います。そんな中でやはりバスに乗るという習慣というものを少しでも多く作っていただければ、ちょっと不自由でも良い所を感じていただけるのではないかと思います。根気強く皆様のお力添えをいただきながらやっていくという中でいろんな手法があると思いますので、役所だけが考えるとかそういうことではなくて、ここにお集まりの皆さんで総意の中であの手この手を考えていただく中で将来安全な地域になり、地域の活性化に結び付くというようなことも、目標にしながらお願いをしたいと思っております。

今日は本当にご苦勞様です。宜しくお願い致します。

4. 委員及び事務局自己紹介

●事務局

ありがとうございました。

つづきまして、委員及び事務局の自己紹介ということでメンバーが変わられた方もいらっしゃると思いますので、ここで自己紹介という形で紹介をお願いしたいと思います。会長につきましては先程挨拶をいただきましたので、副会長から順にお願い致します。

(各委員事務局自己紹介)

5. 議事

●事務局

それでは議事に入りたいと思います。議事につきましては規約により会長が議長になりますので、会長進行によりお願い致します。手塚会長宜しくお願い致します。

●会長

それでは早速議事に入らせていただきます。ご質問ご意見等ありましたらお気軽な形の中で拝聴させていただきますので宜しくお願い致します。

それでは、(1) 南アルプス市コミュニティバス運行について、事務局の方から説明をお願い致します。

(1) 南アルプス市コミュニティバス運行について

- コミュニティバス運行経過及び利用状況等

事務局説明【資料1】

- コミュニティバス運行計画

事務局説明【資料2】

●会長

議事(1)南アルプス市コミュニティバス運行についての説明をさせていただいております。初めての方もおられると思いますけども、気軽にという形で何かご質問等あれば宜しくお願い致します。

この活性化協議会の中で運行計画の変更等もありますれば、全て議事として協議におかけして事務局の方でまた申請の方に移行するようなこともありますので、皆様方のご理解が必要ということになります。ご承認につきましては拍手ということでお願いをしたいと思います。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。

議事(2)地域内フィーダー系統確保維持計画について、事務局から説明をお願い致します。

(2) 地域内フィーダー系統確保維持計画について

事務局説明【資料3】

●会長

事務局の説明の通りでございます。国庫補助金等を受けるということもありまして、今の14～17ページという風な形で、17ページの上の方には本日6月21日協議会にというようなことになってございます。この件につきましてご意見ご質問等ありましたら挙手をもってお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

●委員

14ページの一番下に1本バス停の解消とありますが、これはどういったことでしょうか。

●事務局

幅員が狭い所や経費削減のためにバス停を一カ所しか立てていないところがあります。そういった所を利用者さんたちが、道を渡って時刻表を見に行って、また戻ってくると危険性が伴ってきますので、幅員が大きいような場所については、徐々に1本バス停を2本バス停にシフトすることです。

●会長

他にございますか。よろしいでしょうか。

それでは議事(2)、皆様がよろしければご承認を拍手ということで宜しくお願い致します。
ありがとうございます。

議事(3) 南アルプス市コミュニティバス新規路線について、事務局の方から説明をお願いします。

(3) 南アルプス市コミュニティバス新規路線について

事務局説明【資料4】

●会長

事務局の方から説明が終わりました。この件につきましてご質問等ありましたら宜しくお願い致します。

●委員

21 ページに書いてある車両のポンチョは今のバスより小さいのですか？

●事務局

車両的には同じ部類の大きさになります。このプログラムには小型とありますけども、基本的には今と同じ中型のバスの大きさになります。床が低いのと、頭が高いので車体自体は大きく見えるんですけども基本的には同じ大きさになります。

●委員

ありがとうございます。なぜそのことを聞いたかと言いますと、路線図の中で空白地域とあったようなものがあるように見えるんですけど、例えば上八田地域とか。道路が狭いからそういうふうになっているのかと思うんですけど、今回小さいバスだったら狭い道の所でも走れるのかなと思い、こういう質問をさせていただきました。

●事務局

空白地域につきましては、これまでもいろんなご意見をいただく中で、先程お示ししました5路線の中で、そういった要望等を含める中で、現在こういった形になっております。

車両につきましては、本当に細かい道は今の車も入れない部分もございます。上八田でも東西の路線とか元々走っていた路線もございます。そういった全体の流れとか要望等を聞く中で、路線については各機関と相談する中で必要により対応してまいりたいと考えております。

●会長

先程の時刻表 7 ページに全路線が書いてあります。これを見ていただくと全路線が乗っているの、運行しているコースが分かると。今委員が言われたように右上の免許センターの左側 52 と書いてある所とかですね、この辺が空白地域だということだと思います。私も当初この路線図を見たときに、下の赤い甲西の方は田んぼの方だしというようなこともあるのですが、上の方も思ったんです。地域からの要望とか、いろんな変遷を今までしてきた中でいろんなことをお聞きしていると。これから当然全体の中でいろいろなご要望、また多く使われてくれば、その辺の路線もまた考えていくということも順次していく。少しずつ運行に対してきっちり対応できるようにしていくというようなことで、現在では今までの過程も踏まえてこういう形だと。上八田とか必要になれば、この図を見ると百々とか特にそうなんですよね。そんな現象もあるということで、決してここを除いているとかそういうわけではないけれども、今までの経緯、事情があるということをお願いをしたいと思います。

他にどなたかありますでしょうか。よろしいでしょうか。

この件につきましては、また事務局で 11 月に向けてということで準備に移らせていただいて、先程の新設校の事もありますので、しっかり準備をさせていただくということでまたご提示をさせていただきたいと思いますので、皆様方に内々にご承諾をいただいて進めていくということでご理解を賜りたいと思います。宜しくお願い致します。

つづきまして、(4)楡形西地区コミュニティタクシー「そよかぜ号」運行について、説明をしていただきたいと思います。

(4) 楡形西地区コミュニティタクシー「そよかぜ号」運行について

● 楡形西地区コミュニティタクシー「そよかぜ号」利用状況等

事務局説明【資料 5】

● 楡形西地区コミュニティタクシー「そよかぜ号」運行方法の一部変更

事務局説明【資料 6】

●会長

事務局より説明が終わりました。この件について何か質問等ありましたら宜しくお願いします。

●委員

この中で、学生の通学支援のためにやっていたんだけど通学方法が変わったというの

は何かどのように変わったのか教えていただきたい。うちの方もそういう関係があるかもしれませんのでお願いします。

●事務局

利用していた子供さんたちがバイク通学になったり、家族の方が送って行ってしまったとか、そういったことによって利用がなくなると聞いています。

●会長

他には何かありますか。

●委員

本日のお話にありました通学方法が変わって学生さんが利用されなくなったというお話の中で、さらに予約運行便を使った試験運行を実施しながらも増便を行うといったお話だと思うんですけども、利用者通学者に関わらず今後利用者増が考えられるといったお話でよろしいでしょうか。

●橿形西地区事務局長

橿形西地区はご存知のように高齢者が結構多い地域でございまして、運行便が増えることによって、今まで家を出なかった方、あるいはお子さんや隣近所の人に乘せて行ってもらっていた方が希望の時間にでかけられるということが見込まれるというように考えています。

またそういう要望が私たち委員会の方にもたくさん寄せられておりますので、学生の使用はなくなっても、高齢者の方々の利便性が増して使用が増えるのではないかと期待しております。

●会長

今の質問の中で誤解があるといけないのですが、22 ページにある利用者といって年間3,000 人を超え、1 日 13、14 人ということで、学生さんが使われているのと、今の地域の方々が使われているというこの割合は分かりますか。

●橿形西地区事務局長

細かい数字までは分かりません。学生は毎日乗るわけではなかったですから。季節的な要因があります。例えば夏休みはほとんど乗らないとか、年末年始になると3年生は乗らないとか、部活が盛んになると乗らないとかありますので。ただ人数的には毎朝2～3人は乗っておりました。ただこの平均値にどれだけ反映するかは今お答えできません。申し訳ございません。

●会長

ありがとうございます。14 人ほどいると4 人くらい学生が使ってあと10 人くらいは地

域というか大人の方が使っているという感じですかね。西地区、ちょっと高い所に離れてありますので、先程の24ページの図のように、中心に小笠原下仲町バス停の2.6 km範囲という形の中です。いろいろな活用をしていただいて、また楯形西地区事務局さんたちもそうですけれども、全体を掌握しながらやるのは大変かと思えますけれども宜しくお願ひしたいと思ひます。

これにつきましても、同じように運行方法の一部変更というようなこととなりますので、当協議会の方へお諮りをするということでございますので、ご承認につきましては皆様方の拍手ということでお願ひをしたいと思います。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。

それでは(5)南アルプス市営バス事業、広河原・北沢峠間を季節的に運行しております。これにつきましては、南アルプス市の自動車運送事業というふうな形で、市営バスといいますと先程のコミュニティバスというような感じがしますけれども、企業局でやっておりますので説明をさせていただきます。宜しくお願ひします。

●企業局

今日は南アルプス市自動車運送事業（広河原⇄北沢峠線）の新たな運営方針について、貴重なお時間の中、説明の機会をいただきましてありがとうございます。

それでは早速説明をさせていただきます。着座にて失礼いたします。

朗読により説明申し上げます。

(5) 南アルプス市営バス事業（広河原⇄北沢峠線）の新たな運営方針について

説明【資料7】

説明は以上になりますが、今回の取り組みにつきましては先程ご説明申し上げました通り、運転業務員の高齢化、またその人員確保に窮していることに加えまして、先程から何度かお話の中に出ている様に、近年バスの関係で大きな事案が生じております。そういうことを踏まえまして関係する方々から、趣旨の中にもございますように、これまで以上により安全なサービスを提供していくためにも、専門の業者さんに業務を委ねることが望ましいのではないかとご意見をいただいているというところからでもございます。今回、このようなことを踏まえまして、取り組むものでございます。協議会の皆様には今後の取り組みに向けまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます。説明を終わらせていただきます。ありがとうございました。

●会長

企業局からの説明が終わりました。何かご質問はありますでしょうか。

●委員

説明の中で、業務の委託ということは譲渡であるというような説明だったんですけども、南アルプス市としてはこの事業に対しては何か関わりを持つのでしょうか。

●企業局

運送業務については、外部の業者さんに行なっていただきますが、事業の企画・提案・予算措置については、南アルプス市が行なうものでございます。

●会長

他にありますでしょうか。

なかなかあまりない事業でございますので、山間部、南アルプスユネスコエコパークを中心に核心地域に近い所でございます。本日 21 日から 4 ヶ月程になる訳ですけども、山間部ということで、今言いますように安全対策ということもありますが、運転手の方が段々高齢化になっていくということもありまして、期間的に 4 ヶ月ということでなかなか確保することが難しいというような部分もありますので、より安全に事業を展開していくという形の中で、今日もバス協会、タクシー協会、山梨交通さんもおられるわけですけども、今後色々な方々のご理解を組む中で利用者のより安全のために一つステップを踏み出すということに。実はここまで来るのに数年のいろんな調整がかかっております。その中をやっていきますということでもあります。これにつきましては、まだまだ関係機関と協議をすすめるということもまだあります。今回そこが踏み出せるということでございますので、皆様方にご説明をさせていただいて、内々ご了承をいただいて、先程のスケジュールにのせていきたいということでございますので、宜しくお願い致します。

●委員

確認をさせていただきたいのですが、今回の事案は、事業主体自体は委託する事業者になるというふうに理解してよろしいですか。

●企業局

道路運送法上で申しますと、運送事業を行うには新たに国土交通省に許可を受けなければならないということになりますので、法律上は事業の譲渡という扱いになりますが、環境省などと話をする中で、事業主体は南アルプス市でなければそういった許可は出せません。というお話をいただいておりますので、あくまでも先程申し上げました通り、予算上とかそうした部分は南アルプス市が必ず行なっていくものでございます。

●委員

実際にその事業をやる許可を受けるのは、委託をする事業者が許可を受けるということですね。

●企業局

はい。そうです。

●委員

わかりました。

●委員

長衛小屋までは伊那市の方から行きますよね。こっちは南アルプス市から長衛小屋までと。その連携をとっているんですけども、話に聞くと、最近はどうかわかりませんが、向こうとこっちの兼ね合いがうまくいってないような話を聞いたんですけども、事業者がしっかりした連携を取っていただいて、向こうが1本遅れてくると、こちらが先に出てしまったというような事例もあったんですけども、そういったところはしっかり連携を取っていただいて、自治体が違うからお互いに協力し合って、登山者の人たちが利便性良くやっていただけるような形の中でぜひ計画をしていただきたいというふうに私は思っています。宜しくお願いします。

●企業局

ありがとうございます。早速現場の方にも話を伝えまして、今年はすべて時間等、便が決まっておりますので、来年もしできるのであればそうしたことがないように調整を図りたいと考えております。

●会長

ありがとうございます。自然環境の所で落石があったりとか、台風だとかいろんな状況で止まったり動いたり、その年によって非常になかなか難しいということもあります。先程、事務局の言いましたように環境省もそうですし、いくつかのところとも今からもまだまだ調整をしていかなければなりません。

それではこの件につきまして、関係機関の方々のご理解をとということで進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、議事(1)から(5)でご用意させていただいた部分は、済んでおるわけでございますけれども、その他という所で全体的にとということでお願いをしたいと思います。

(6) その他

●委員

利用者数が月に300～400人。これをもっと増やそうという考えはあるのでしょうか。高齢者がバスに乗ることは殆どないし、コースを見てもどこからどこへ行くのか経験しないと分からない。非常に不安。そういう研修会みたいなことをやっていただければ。白根から竜

王までみんなで集まって乗ってみるとか、どこを通過して行くのかということが分かりますから、そういうことを各地区でやってもらえれば、こういう便利な乗り物があるんだということで、そこで免許の返納も出てくるんじゃないかと思うんですが。どうでしょうか。

●事務局

まず利用者増については、先程も説明した通り、路線を増やしたり、要望に応えたりと、いろんなことをする中で、各号車合わせて全体で毎年1万人ずつくらい増えています。本年度も9月までに5万人近くなる見込みであります。

皆様にバスが運行していることを知っていただく方法を色々取っている中の一つに、この後に(6)その他で説明をしようかと思っておりますが、各地域のグループの皆さんに体験乗車というものがございまして、ご希望の日時場所等を言っていただく中で、グループで乗っていただいて、温泉に行くなり体験していただくというような企画もございます。

地元にもそういった説明をとのことですが、市ですと交通指導員さんが各地区の高齢者グループなどに出向いて、高齢者に対する交通安全教室を開いています。そういった中でバスのご案内をさせていただいて体験乗車をしていただくとか、バスの存在を知っていただくことも考えていきたいと思っております。体験乗車につきましては、後程細かく説明をさせていただきたいと思っております。

●会長

昨年もこの会で老人クラブの会長さんが体験乗車で温泉へ行ってるよとかお話をいただきました。後で事務局の方から説明をさせていただきますので、宜しくお願いします。

その他として、他にありませんでしょうか。

●委員

市役所の方針と委員の皆さんのご協力に改めて感謝を申し上げるところであります。

このバス事業は合併協議会において平成15年以前の合併する前に各市町村で協議をした結果、福祉バスとして3億5000万円くらいの予算をもって始まっている合併協議会の決定事項でもありまして。平成15年に市が合併しましたが、平成18年に当時の市長に議会でぜひ合併協議会で決まったことはやってくれと、高齢者と障害者を中心とした福祉バスをやってくれと申し入れた結果が、最初の試行運転で春と秋に2カ月ほど2回やったんですけども、とても人を誘ってもらえなくて、空気を運んでいるんじゃないかと不評でありまして、打ち切りになって困ったなということがあったんですけども。

そうは言っても、高齢者、障害者の方たちが、買物とか市役所とか病院へ行くのに困っている人もいるということで、平成27年から始まって、利用者が2万人から5万人になると。これも委員の皆さんや、市役所の皆さんのおかげだと思っておりますけども、これがまだまだバスを見ていると人が乗っていないなと思っはいるんですけども、今の高齢者の新聞やテレビで報道されているように、ああいう事故があるということによって、年齢は人それぞれなんでしょうけども、免許返納しようかなと考えている人達も相当いるんですよ。その時

にこの仕組みがなければ、山梨県の特に南アルプス市は公共交通、電車がないですから、このバスの運行がとても大事になってくるんじゃないかなど。私も散々行政をつついて、やれやれ、続ける続けろと言ってはいたんですけども、心苦しい点もあるんですよ。バスを見ると、そんなに人が乗っていないから無駄な財源を使っているのかなと思うんですけども、とは言っても段々増えてきたということも事実でしょうし、高齢化も進んでなかなか外に出られないということもありますので、この事業はぜひこのまま続けていただければ、段々費用対効果も出てくるのではないかなと思うんですけども、とはいっても、障害者の会の人たちもいろんな意見をいただく中で、私も行政のこういう会議の時に、一生懸命できるだけ皆さんに使っていただけるような方法でやってきました。また、昨年八田地区にオギノが出たですよ。そのオギノが出たときに、規約にあるんですけども軽微のこういった事業は会長の一任でできるということで、オギノの店の前までバスが停まるようにしてくれたんですよ。すぐにやってくれたということ八田地区の人たちは喜んでおります。

私がいろんな人たちと話をする中で、甲西地区の人たちにはよく聞かれるんですけども、もうちょっと近くまで来てほしいなというご意見があるんですよ。ここにおられる各地区の自治会の代表さんたちは、地域の人たちのご意見を聞いて、どしどしここでいろいろな提案をしていただきたいと、無理難題でもいいんです。言うことを言って、それが反映できるかどうかということが、これからの問題だというふうに思っておりますので、せっかくここに来ていただけるんだから地域の皆さんの意見を、うちの近くまでバスを持って来てくれ。そういうわけにもいかないよ。バスは近くへ行けば行くほど時間もかかるということもあるんですけども、私も障害者でありますし、高齢者になりましたので、いろんな意見をここで申し伝えて、できるだけ皆さんのご意見をここで提案してバスがうまく運行できるようになればいいなというふうに考えておりますので宜しく願い申し上げます。

●会長

ありがとうございました。

他に委員さんからあれば、よろしく申し上げます。

●委員

バスの路線の中で4つの温泉地にバス停があるんですけども、温泉地の中でターミナルみたいなものがあるって、温泉の入り口までバスが停まってくれる所と、芦安の方に向かう天笑閣の通りに面した所にあって中に入れない。住民の方から外に出ていくので、特に冬は寒くて、バス停まで10mくらいあるでしょうか。他の路線の中でターミナルが入っている所と、外で待っているという所があるのかどうかお聞きしたいんですけども。

●事務局

温泉につきましては、施設の広い所、やまなみとかもそうですけども、クルっと回って玄関の近くまで行っております。今お話にありました天笑閣につきましては、お話がありまして、うちの方も先日現地を見てきたわけですけど、比較的中も狭くはありますが、ある程度

バスも回れるということもありまして、あともう一つ、隣の山からダンプが出てくるということもありまして、こちらから上っていく時は左でいいんですけども、下る時は裏が川、前が道路ということで危険性を伴うような所でしたので、そこにつきましては、天笑閣が指定管理ということで、業者さん、観光商工課が主となりますので、そこと話をしておりまして、中へ回って出れるかとか、そのためには当然施設の協力も必要になりますので、その話は進めだしたところでございます。当然、寒い暑いもありますけども、安全第一になりますので、その辺も含めながら対応をしていきたいと思っております。

●会長

他にありますでしょうか。

先程の委員さんもそうですけど、細かい状況もあるかと思うんですね。できることできないことも色々どうしてもあるかと思えますし、そこのご理解ご協力もなければできないということもあるので。ですけども、天笑閣なども隣のヘルスピア白根を解体して広がっておりますので、あの辺も使って U ターンするということもできるのかなと思うので、事務局もそのところは見極めてやってもらいたいと思います。

先程の自治会もそうですし、特に老人クラブもそうですけども、いくつか要望はあってしるべきだし、そうでないといいものになっていきませんし、冒頭も言いましたけど使っていただかないと。いずれそういう社会が来ると。乗ってくじゃんという話で、今のうちにバスに乗ることに慣れてというところを作りたいので、多少無理無駄があるところがあるかもしれないがご容赦いただくというところで。また今日でなくても、交通政策室を設けてございますので、いろんな意見をぶつけていただければというふうに思います。また宜しくお願い致します。

それでは、事務局でその他があるそうなので、お願いします。

●事務局

その前にですが、今お話に出ました天笑閣の問題もそうですが、今後ご相談したいという軽微な変更につきましては、ご意見をいただきまして、担当としては運輸局、道路、警察等の関係機関と協議する中でできる対応はしていきたいと、その辺はご一任いただきたいと思っておりますけれどもよろしいでしょうか。

要望についてはその都度ご相談しながら、すすめさせていただきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

事務局説明

- 体験乗車事業
- 車体広告募集の状況報告
- 健康リーグ

ここには記載していませんが、コミュニティバス PR のため、8 月 10 日に開催されます南アルプス市サマーフェスティバルへコミュニティバス車両を展示し、フェスティバル来場者にバスと一緒に記念撮影をしてもらい、自身のInstagramや LINE などへ撮影した写真を拡散していただいた方へ、啓発用品のプレゼント企画を計画しております。コミュニティバスにつきましては、まだまだ認識不足です。市民であっても知らない方が多いので、この機会にバスに触れてもらい、知ってもらう機会として利用促進のために参加したいと考えております。

参考であります、現在取り組んでいる事業の説明については以上でございます。宜しくお願い致します。

●会長

知っていただいたり、乗っていただくというところで、お得なところもありますよということなんですけれども、今の中でご質問等何かありますか。こんなことをしたらもっといいよとか。

それでは、先程の事に戻りますけれども、また交通政策室の方にいろんな意味で良い案がありましたら、お寄せいただければ本当にありがたいので宜しくお願いします。

それでは議事の進行につきましてはこれで〆させていただきます、事務局の方へお戻し致しますので宜しくお願いします。ご協力ありがとうございました。

●事務局

ご協議ありがとうございました。

6 講評を副会長よりいただきたいと思います。宜しくお願いします。

6. 講評

●副会長

それでは最後の所で全体を通しての、私に関わって見てきたことを含めまして、少しお話をさせていただきたいと思います。

議事の流れですので、着座で失礼いたします。

これまでもいろいろ皆さんのお話、冒頭のご挨拶などでも出ていますように、今大変高齢者の自家用車による事故が増えています。特に痛ましい事故だった東京池袋の事故以来、大都市圏だけではなく全国的に免許返納者が急速に増加をしているところです。そういう中で今後おそらく免許返納が進んで行くことだろうと思います。

それとまた、なかなか免許返納に踏み切れない理由をお持ちの方がいらっしゃるのももちろんです。3 年ほど前でしたか、私も参加した山梨県の交通政策会議で県民に意識調査をしたところ、今運転をしている、ハンドルを握っている高齢者の 4 人に 3 人が、将来ハンドル

を握り続けることに対してなんらかの不安を感じているということも、統計数字で分かってまいりました。

そういうことを考えてみますと、これから車を運転することを卒業する高齢の方が、今後間違いなく増えていくということが言えるだろうと思います。ただ、今現在の状況を見ますと、今は困っていない。将来は自分も運転できなくなるだろうし、免許返納することになるだろうし、車の無い生活を考えなきゃならないだろうなという過渡期でもありますので、今現在そのまま免許を返して公共交通利用者になるという、完全に切り替わる時期ではありませんので、その狭間、ある意味で言ったら難しい時期に今はあるのかもしれない。

将来そういった形で考えますと、この公共交通の重要性は論を俟たないところでして、そういう意味ではやはり免許がなくても生活の中での移動がなんとかできる。マイカーの利便性、好きな時に好きなところへ、自分の意志の通りに移動できる。それを公共交通ですべて賄うのは無理です。無理ですけれども、多少の不便、例えば少し歩いたりするのは健康の為だと思っていただいて、多少の不便を容認していただいて、ちゃんと移動ができるような公共交通というのはやはり考えていかなければならないことだろうと思います。

そういう意味で言いますと、南アルプス市のコミュニティバス、これまでも色々考えて作ってきましたし、それからきめ細かく改良をしながら今現在に至っています。その結果がおそらく今回数字で示された毎年利用者が増加しているというところに反映されているんだろうと思います。そういう意味では今までの市の歩みは決して間違っただけではなかったんだらうなと思います。

それから私は、楡形西地区のコミュニティタクシー「そよかぜ号」の形態は、全国にも自慢できる手法だろうというふうに思っています。地域の人たちが真剣に地域の足の事を考えて地域に合った運営形態を作りながら今に至っていて、しかも全体の割合はそんなに大きいわけではありませんけれども、少しずつ着実に利用を伸ばしているということは、私はもっと全国に発信してもいい手法ではないかなというふうに思っています。こういった地域に合ったものを組み合わせながら今後も南アルプス市の交通ネットワークを作っていく必要があると思います。

それと同時に、将来公共交通が必要だという人が増えるということ的前提としますと、今乗らない人も含めてみんなで応援をしていくということが必要で、要はそのために実は南アルプス市のコミュニティバスには「応援定期券」という非常にユニークかつ、他にはあまりない仕組みがあるわけです。私もちょっと前のものを持っていますが、これはやはりもう一度PRをして、多くの方に応援をしていただくと。そういうことを考えていく必要があるんじゃないかと。極端なことを言えば一家に一枚みたいな。そういう風な形で市民みんなが将来に向けてこのコミュニティバスを応援していくということも必要かなというふうに思います。

それと先程、会長からもお話がありましたように、バスに乗ることに慣れていただくということも非常に重要なことです。

ここから私の提案になるんですけども、段階があると思うんです。例えば、まだちょっと身の回りの用事があるから車を手放すわけにはいかないけど、もうなるべくだったら甲府の

市内のような混雑しているところまでは行きたくないという人がいるとしたら、コミュニティバスでも山梨交通の路線バスでもいいんですが、どこか停留所の近くに少しスペースが取れるところがあったら、そこに小さな駐車場を設ける。その駐車場までは軽トラでもなんでもそこまで行っていただいて、南アルプス市の中心部へ出る時とか、甲府へ出る時は、コミュニティバスや路線バスに乗り換えてもらう。そのようなことで、少しずつバスへ乗ることに慣れていただいたうえで、最終的には免許を返納していただいて、バスで移動していただくと。こんなことも考えられるのかなと思っています。

実は私、他の地域で提案して、今少しずつ進めているんですけども、いわゆる通勤の為のパークアンドライドみたいな大げさな話ではなくて、田舎型のパークアンドライドなんですけども。そんなことも考えていいんじゃないかというところもあります。

先程、委員さんからもありましたように、住民の中でもコミュニティバスが複雑で分かりにくくて知らない人もいるというようなご意見がありました。この辺も確かに路線が年に1回くらい変わっていると、どうしても分かりにくい部分も出てまいります。経路もそれなりに複雑ではありますので、どこをどういうふうに走っているのかという周知は今以上に丁寧に行っていく必要があるのかなという気がします。

そうやってみんなに知っていただくことで、さらに応援をしていただくというような形で、今後もさらに南アルプス市のコミュニティバスを発展させていければ、あるいは地域の中で取り組まれている「そよかぜ号」のような形態の取り組みが進んで行ければと、そんなふうに思っております。

最後にそんな感想めいたことを含めて申し上げて講評としたいと思います。ありがとうございました。

●事務局

ありがとうございました。

今のお話にもありました通り、このコミュニティバスは今の段階ですと知っていただき、乗っていただく、これが本当に重要で、啓発については今後も力を入れていきたいと思っております。また、今のお話にもありましたように、いくつかのご意見の中でもあまりそんなにコースが変わると、この路線はあそこに行くんじゃないのかとかいろんなご意見もありますので、ある程度基本的な路線は変えずに、ここは我慢する期間である程度知って乗っていただく、あと高齢者の方もその時になってからじゃ、今までのお話のように中々乗りにくい部分もありますので、あらかじめ、その前の段階から慣れていただくということ非常に重要だと思っております。このための取り組みも皆様方のご意見等聞きながら進めていきたいと思っております。交通政策室は市役所の3階になります。電話でも結構です。ご意見等頂ければ参考にさせていただきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

7. 閉会

●事務局

それでは以上を持ちまして、本日の協議会を終了とさせていただきます。長時間に渡り本当にありがとうございました。